浜松ホトニクスグループ
行動指針・姿勢

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

第2版：2025年4月1日発行

目次

■ トップメッセージ 2

■ はじめに 3

■ 環境（E） 7

E-1. 環境汚染の予防
E-2. 地球環境への貢献
E-3. 環境に優しい製品の提供

■ 社会（S） 10

S-1. 品質と安全の確保
S-2. 人権、多様性の尊重
S-3. 労働環境の整備
S-4. 社会への貢献

■ ガバナンス（G） 14

G-1. 倫理・コンプライアンス
G-2. 適正な研究開発活動
G-3. 公正・誠実な調達活動
G-4. 適正な輸出入管理
G-5. 知的財産の尊重
G-6. 財産・資産の適切な管理
G-7. 社外との適切な関係
G-8. 情報管理・セキュリティ

■ 公益通報窓口のご案内 22

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

トップメッセージ

当社は、プライム上場企業として、大きな社会的責任があると認識しています。この責任を明確化する切り口として「ESG」、すなわち環境、社会、ガバナンスがあり、これら非財務に関する活動は、当社グループの持続的な発展のために重要な要素の一つです。

2023年に改訂した経営理念では、以下を掲げています。

- 光の未知未踏領域を追求し、科学技術の進歩とより豊かな社会・環境の実現、人類の健康と幸福に貢献すること
- 持続的かつ安定的な高収益体制を構築し、積極的な研究開発投資や設備投資を行い、業容拡大と企業価値の向上を目指すこと
- そのための基盤として、「人・技術・知識」があり、社員一人ひとりが日々の仕事を通じて研鑽し、「和」の精神のもと、グローバルに総合力を発揮すること

さらに当社グループは、社会・環境価値創造型企業としての持続的な成長を宣言しています。「社会・環境価値創造型企業」とはどのようなものか。経営層での議論を重ね、多くの課題を抱える地球環境の中で、光の尖端企業であるからこそ言える定義ができました。

「私たちは、私たちの存在が社会・地球環境に対して与える、ポジティブ、ネガティブな影響を勘案し、調和・連携・協創できる世界を光技術で創りだします。」

ステークホルダーとともに、このような企業活動を進めていくためには、当社グループの役職員一人ひとりが、人権を尊重し、関係法令、国際ルール及びその精神を遵守し、国際社会の一員として真に正しい行動とは何かと考え、高い倫理観のもと、実践していくことが求められます。そのための「行動指針・姿勢」として、従来の企業行動規範を見直し、この1冊に集約しました。

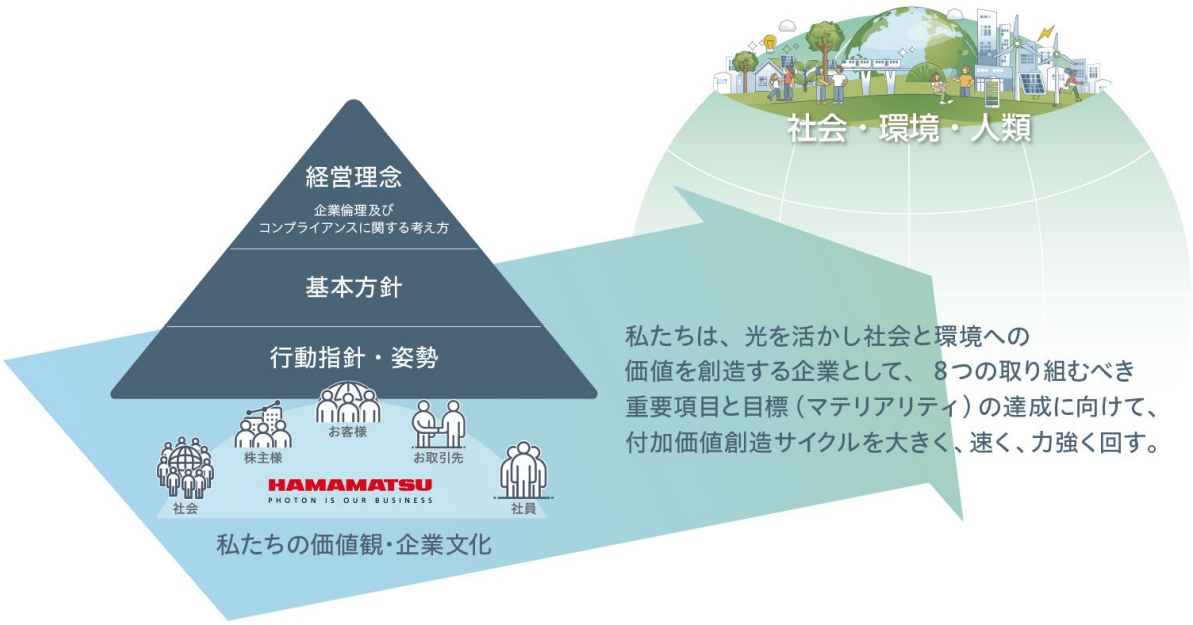
ぜひ当社グループで働くすべての方に読んでいただき、私自身も含め、一緒に実践していきましょう。

浜松ホトニクス株式会社
代表取締役社長
丸野　正

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

はじめに –方針体系

当社グループは経営理念にもとづき、以下の方針体系のもと事業を推進します。2022年12月に新しい経営体制となり、2023年3月には「経営理念」を、同年9月には「企業倫理及びコンプライアンスに対する考え方」を改定しました。当社グループが現在までに培ってきた根幹にある普遍的な志と価値観は継承しつつ、光を活かし社会と環境への価値を創造する企業（社会・環境価値創造型企業）として持続的に成長するため、役職員一人ひとりが、日々の活動の中で意識し、実践すべき内容を明示しました。



社会・環境価値創造型企業【定義と決意】

当社グループは、私たちの存在が、社会・地球環境に対して与えるポジティブ、ネガティブな影響を勘案し、調和・連携・協創できる世界を光技術で創り出します。

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

はじめに –経営理念等

浜松ホトニクスグループの経営理念

私たちは、光には無限の可能性があると確信しています。
光技術は様々な産業を支える基盤技術としてさらなる進化が求められていますが、光の本質はいまだ解明されていません。光の未知未踏領域を追求し、そこから生まれる知識や新技術に基づいた新しい産業を創造し、科学技術の進歩とより豊かな社会・環境の実現、人類の健康と幸福に貢献します。この挑戦を続けるため、持続的かつ安定的な高収益体制の構築とともに、積極的な研究開発投資や設備投資を行い、業容の拡大と企業価値の向上を目指します。
人・技術・知識が当社の経営基盤です。社員一人ひとりが日々の仕事を通じて研鑽し、「和」の精神のもと、グローバルな視点で総合力を発揮できる企業風土を醸成します。

Mission わたしたちの使命・約束	Vision わたしたちの志	Values わたしたちの価値観
Photon is our business ・科学技術の進歩とより豊かな社会・環境の実現に寄与 ・人類の健康と幸福に貢献	・光の未知未踏領域を追求 ・光技術を用いた新しい産業の創造	・挑戦 ～できないと言わずにやってみろ！～

企業倫理及びコンプライアンスに関する基本的な考え方

当社グループは、光の未知未踏領域を追求することによって、新しい産業を生み出し、科学技術の進歩とより豊かな社会・環境の実現、人類の健康と幸福に寄与することが重要と考えています。その実現のために、社員一人ひとりが、自分にしかできないことを見つけ出し、光産業創成に向けた知識、ニーズ、そして競争力のある新技術を獲得すべく、全身全霊で取り組む姿勢が必要です。同時に、新しい産業を興すことの重要性をステークホルダーへ説明し、正しく理解していただくように努めていきます。企業活動は従業員の行動の総和によって成立します。当社グループは、社員一人ひとりが人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、社会の一員として真に正しい行動をする企業風土を醸成していきます。当社グループは、全社員がこのような高い意識をもち、健全で信頼される企業として成長・発展し、社員の高い倫理観の維持と光技術を通して新しい産業を創成し、社会、人類に貢献することを目指します。

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

はじめに –取り組むべき重要事項と目標（マテリアリティ）

浜松ホトニクスグループの取り組むべき重要事項と目標（マテリアリティ）

当社グループでは、以下のとおり、取り組むべき重要事項と目標（マテリアリティ）を特定しました。今後はこの8つのマテリアリティを念頭に、光を活かして社会・環境への価値を創造する企業として、事業を推進してまいります。

事業を通じた社会・環境への貢献	M1	製品・技術	高度な光技術を活用した社会・環境価値向上への貢献
	M2	高収益経営	持続的な高収益経営による、安定かつ豊かな経済・社会実現への貢献
	M3	品質	優れた安全性、品質、サービスの提供による、顧客価値向上への貢献
事業基盤の強化/企業の社会的責任	M4	環境	地球と共生可能な事業活動の推進
	M5	人権・労働	幸福度の高い雇用制度と職場づくり
	M6	多様性	グループの成長と社会への貢献を支える人づくり
	M7	企業統治	価値創造の安定と成長を実現するガバナンスとマネージメントの推進
	M8	ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ	製品の安定供給体制と責任あるサプライチェーンの構築

行動指針・姿勢においても、これらのマテリアリティと関連する項目が多くあります。7ページ以降の各トピックスでは、ページ右上に該当するマテリアリティをマークで表示しています。（M1～M8）

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

はじめに –行動指針・姿勢

浜松ホトニクスグループ行動指針・姿勢

当社グループは2017年に「国連グローバルコンパクト」に署名しています。人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わる10の原則に賛同し、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するため、企業行動規範等を定めて様々な取り組みを進めてきました。

そのうえで、これらの行動規範や方針がグループすべての役職員に浸透するよう、また一人ひとりがその重要性と内容を認識・理解し、企業活動の基礎としていけるよう、2024年に「行動指針・姿勢」として改定しました。
改定に際しては、従来の浜松ホトニクス単体向けの行動規範を、グループ全体で共有して実践していくために、グローバル視点でのESG、SDGs（持続可能な開発目標）と当社グループのマテリアリティと照らし合わせ、内容の整理と見直しを進めました。

私たちは、ESGは非財務価値において重要な要素であると考えています。ESGは環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の頭文字をとった造語であり、企業が果たすべき社会的な責任を3つの観点から示しています。改定した行動指針・姿勢では、このESGを切り口に各トピックを再整理し、詳細内容を定めています。

次ページより行動指針・姿勢の各トピックスを記載しており、ページ下部には関連する方針・規定、担当部門、関連するSDGs等も明記しています。

マークの見方　▷ 関連する方針・規定　▶ 担当部門

WE SUPPORT
UN GLOBAL COMPACT

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

E-1. 環境汚染の予防

M4
環境

当社グループは、光技術で地球環境の保全に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。また、環境に配慮し、健全で持続可能な事業活動を展開するため、各業務を通じて地球環境保全と企業価値の向上を推進します。

私たちは、環境経営を戦略的に推進し、継続的改善を実施します。

【行動指針・姿勢】

- □ **環境負荷と環境リスクの低減への対応、汚染の予防を推進する。**
- □ **生物多様性に資する行動に自発的かつ着実に取り組む。**

▷ 浜松ホトニクスグループ環境方針
▷ 環境管理規定
▶ 管理統括本部 環境統括部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

E-2. 地球環境への貢献

M4
環境

当社グループは、世界の平均気温上昇に起因する災害等の気候変動問題に対応するため、事業活動から出る温室効果ガスを削減します。
また、私たちは、世界の資源消費に起因した貧困をはじめとした問題に対応するため、資源循環に配慮した事業活動を実践します。

【行動指針・姿勢】

- □ **カーボンニュートラル社会の実現に貢献する。**
- □ **事業活動を通じて、資源循環対応に貢献する。**

▷ 浜松ホトニクスグループ環境方針
▷ 環境管理規定
▶ 管理統括本部 環境統括部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

E-3. 環境に優しい製品の提供

M4
環境

製品は使用時のエネルギー消費だけでなく、原料採掘から廃棄まですべての段階で環境に負荷を与えています。
当社グループは、独自の光技術を用いた製品のアプリケーションを通じて、地球環境保全や環境負荷低減に貢献するとともに、製品自体の環境負荷低減を目的とした新製品開発や新技術開発を推進し拡販に努めます。

【行動指針・姿勢】

- □ **ライフサイクルを通じて環境負荷低減に配慮した製品を提供する。**
- □ **環境改善に貢献する製品・技術を開発する。**

▷ 浜松ホトニクスグループ環境方針
▷ 環境管理規定
▶ 管理統括本部 環境統括部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

S-1. 品質と安全の確保

M3
品質

幅広い分野で利用される当社グループ製品は、その応用分野の拡大に伴い、製品の品質、信頼性に対する要求も高度化しています。私たちは、製品法規制を遵守し、高品質と確かな安全性を維持向上させることで、満足度の高い製品・サービスの提供に努めます。

【行動指針・姿勢】

- □ **高品質かつ安全な製品・サービスを提供する。**
- □ **品質の維持向上に努める。**
- □ **製品法規制を遵守する。**
- □ **社員の製品安全と品質に関する理解を促進する。**

▷ 浜松ホトニクスグループ品質方針
▶ 管理統括本部 品質本部 品質統括部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

S-2. 人権、多様性の尊重

M5 人権　M6 多様性

当社グループは「企業倫理及びコンプライアンスに関する基本的な考え方」でも示しているように、社員一人ひとりが人権を尊重することを掲げています。これは国際人権章典をはじめとする人権に関する国際的な基準に定められている人権を尊重することを意味しており、国際連合の「ビジネスと人権に関する指導原則」を適用した人権の尊重であると捉えています。

また、経営理念でも掲げているように、私たちは、経営基盤の一つは“人”であると考えています。人権の尊重はもちろん、「人はそれぞれ違う」というダイバーシティの考え方のもと、すべての役職員が自分らしく、やりがいをもって当社グループで働けるよう、一人ひとりの多様性を重視するとともに、公平に差別なくスキルアップ・キャリアアップの機会を提供し、人財育成にも積極的に取り組みます。

【行動指針・姿勢】

- □ **社員の人権とプライバシーを尊重する。**
- □ **国際基準に準拠した人権尊重を徹底する。**
- □ **多様な人材が能力を発揮できる人事制度を推進する。**
- □ **児童労働、強制労働を禁止する。**

ダイバーシティの考え方

年齢や性別、性的指向、性自認、障がい、国籍、人種、宗教、文化、価値観、ライフスタイル、家庭環境、経験など、一人ひとり違う人間です。それぞれの個性を尊重し、活かすことが企業の価値創造につながると考えています。

▷ 浜松ホトニクスグループ人権方針
▷ ハラスメント禁止規定
▶ 管理統括本部 総務本部 総務部/人事部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

S-3. 労働環境の整備

M5
労働

当社グループは、人類の健康と幸福に貢献するという理念のもと、役職員の安全と健康の確保が最重要課題の一つと認識し、「働きやすく安全な職場づくり」と「心身両面での健康保持増進」を推進しています。当社グループで働くすべての人の安全と健康を守るため、関係法令やルール・規定の遵守はもちろん、事故を未然に防ぐための教育研修や改善活動にも継続的に取り組みます。

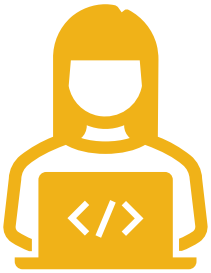
また、あらゆる差別の撤廃や結社の自由の保障、ワークライフバランスの確保等も推進しており、適宜、労働者との協議（一例として労働組合による協議も含む）を通じて、働きがいのある快適な職場環境の構築に努めています。

【行動指針・姿勢】

- □ **安全な職場を実現する。**
- □ **職場の安全衛生、社員の健康管理の充実を図る。**
- □ **施設・設備の安全を確保する。**
- □ **雇用差別の禁止と機会均等を推進する。**

あらゆる差別とは

性別、年齢、国籍、人種、民族、肌の色、宗教、思想、政治的意見、信条、社会的身分、障がい、性的指向・性自認などによって差別をすることを指します。



▷ 浜松ホトニクスグループ安全衛生方針
▷ 浜松ホトニクスグループ健康経営方針
▷ 就業規則
▶ 管理統括本部 総務本部 総務部

3 すべての人に健康と福祉を

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

S-4. 社会への貢献

当社グループでは、企業活動の真の目的は「新しいサイエンス」を生み出すことであると位置づけています。光技術をベースにして、地域をはじめとする社会の皆様に対しどのように役に立てるのかを、役職員一人ひとりが常に念頭に置くことが重要だと考えています。

また、災害等の有事の際は、発生直後の周辺住民の方々の受入などの地域貢献にも可能な範囲で積極的に取り組み、地域との協調を図ります。

【行動指針・姿勢】

□ **社会貢献活動に積極的に参加する。**

活動例

- 地域の環境美化活動、寄付活動
- 国際会議の開催や研究助成活動
- 関係機関や地域社会と連携した小中高校生への教育活動
- 「浜松コンファレンス※」の開催
  ※光科学技術の最先端の研究を市民の皆さまにわかりやすく解説するとともに、新しい文化について考えるイベント。

▷ 社会貢献活動に関する基本的な考え
▶ 管理統括本部 総務本部 総務部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

G overnance ガバナンス

G-1. 倫理・コンプライアンス

M7
企業統治

当社グループでは、コンプライアンスとは、単に法令規則や国際ルールを遵守するだけではなく、倫理的側面を含むものと考えています。そして、企業としてあるべき姿を意識し、様々なステークホルダーからの期待に応える行動をすることが重要だと考えています。

また、コンプライアンスは直接利益を生むものではありませんが、企業が社会から信頼され持続的に発展・成長するための土台として不可欠です。社員一人ひとりのコンプライアンス意識が企業の営利活動を支えるということを共有していきます。

【行動指針・姿勢】

- □ **社員に対する企業倫理、行動指針・姿勢に関する理解の促進を図る。**
- □ **社員による不正行為の防止と早期発見に取り組む。**
- □ **国内外における法令を遵守する。**

▷ 企業倫理及びコンプライアンスに対する考え方
▶ 経営企画統括本部 法務コンプライアンス部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

G-2. 適正な研究開発活動

M7
企業統治

当社グループは、「人類の健康」に貢献するという大きな目標に向けて、光の可能性を追求し、未来に向けた光と光デバイスの研究・開発、製品化に取り組んでいます。事業を進める中で、倫理に反する研究開発は行わないことを徹底するとともに、公的機関等からの研究費や助成金についても適正な運用・管理を行っています。

研究不正防止や公的研究費の適正な運営・管理体制として、ホームページにて責任体制や方針を明記し、外部からの通報窓口を設置するとともに、研究開発に携わる全担当者を対象に、不正研究防止・研究費の不正使用防止のための教育を実施しています。

また、一部医療機器を製品群に含む研究開発型企業として、各国・各地域の法令やヘルスケア業界のルールを遵守することはもちろん、医療担当者・医療機関等との関係において高い倫理性と透明性を確保し、公正な企業活動を行います。

【行動指針・姿勢】

- □ **倫理観を持った公正な研究活動を推進する。**
- □ **公的研究費等の不正使用及び不正受給を防止する。**
- □ **医療関係者・医療機関等との関係において、透明性を確保する。**

▷ 研究不正及び公的研究費の不正使用防止に関する方針
▶ 中央研究所 企画部　▶ 管理統括本部 医療機器管理室

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

G-3. 公正・誠実な調達活動

M8
サプライチェーン

取引先・サプライチェーンとの良好な関係は事業活動を支える重要な要素です。当社グループでは自由な競争のもと、公正で誠実な事業活動を推進し、地位や取引上の立場に乗じた不合理な条件を提示するなどの濫用的行為を行いません。

また、コンゴ民主共和国及び周辺国を含む紛争地域、また高リスク地域を原産国とする鉱物サプライチェーンにおいて、児童労働などの人権侵害、環境破壊、非人道的な武力行為等に関わる組織の資金源となる恐れのある錫、タンタル、タングステン、金、コバルトなどの鉱物問題を重大な社会課題の1つとして認識し、当該問題に関与しない鉱物の調達を基本的な方針としています。責任ある鉱物調達の実現に向けて、経済協力開発機構（OECD)が定めた「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジエンス・ガイダンス」に準拠した管理体制を構築し、サプライチェーン全体で責任ある鉱物調達に取り組んでいます。

【行動指針・姿勢】

- □ **取引に際して関連法令を遵守する。**
- □ **公正な取引、公正な競争による事業活動を徹底する。**
- □ **責任ある鉱物調達を推進する。**

▷ 浜松ホトニクスグループ資材調達方針
▷ 浜松ホトニクスグループサプライチェーン方針
▷ 浜松ホトニクスグループ責任ある鉱物調達に関する方針
▶ 管理統括本部 調達本部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

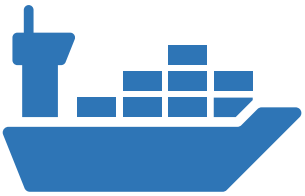
G-4. 適正な輸出入管理

M7
企業統治

当社グループの製品の中には通常兵器、大量破壊兵器などへの転用、応用が可能なものもあることから、輸出管理については細心の注意をもって対応しています。そして、輸出審査のみならず、情報収集、教育（部署、階層別に年50回以上）、監査（年1回）、官公庁との連携なども積極的に行うことで、法令を遵守して適切な輸出をする体制を構築しています。

【行動指針・姿勢】

□ **不正輸出入を防止する。**



▷ 安全保障輸出管理規定
▶ 管理統括本部 物流管理部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

G-5. 知的財産の尊重

M1 製品・技術　M7 企業統治

当社グループは、光産業創成に向けての知識やニーズ、競争力のある技術の開発から得られた成果を、製品として安定供給することで、社会貢献するとともに、「知的財産権」により保護することで、事業を側面から支援することが重要であると考えています。

知的財産活動においても、他者の知的財産権を尊重し、侵害することがないように努め、適切な対応をします。一方で、当社の高品質な製品を安定的に供給することを妨げる行為には、知的財産権を活用し適切でかつ正当な対応をします。

【行動指針・姿勢】

□ **取引に際しては相互の知的財産権を尊重する。**

▷ 浜松ホトニクスグループ知的財産活動方針
▶ 管理統括本部 知的財産本部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

G-6. 財産・資産の適切な管理

M2 高収益　M7 企業統治

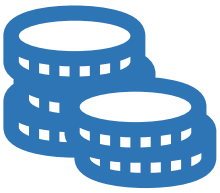
当社グループは、事業活動を行う各国・各地域の法令を尊重し、適切な会計処理を行い、タックスヘイブンを利用せず、活動に見合った納税を行うことで各国・各地域の発展に寄与することを目指すとともに企業価値の棄損を防ぎます。

そのためには、日々の取引記録を適切に行い、改ざん、隠蔽、虚偽の報告や記入を行わないことはもちろんのこと、正確な記録と所定の社内ルールに沿った適切な管理のもと、会社財産を事業目的に有効利用します。

また、私たちは、適切な会計・財務基盤により計算された利益（財産）を目先の利益にとらわれず、将来の企業価値の向上に資するために、株主はもちろんのこと、ステークホルダーに対して適切なバランスで分配するよう心掛けています。

【行動指針・姿勢】

- □ **正確な会計処理と記録の保管を行う。**
- □ **税法の遵守による適正な納税を行う。**
- □ **適正な配当を行う。**



▷ 経理規定
▶ 経営管理統括本部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

G-7. 社外との適切な関係

M7
企業統治

当社グループは、ステークホルダーの皆様から信頼される企業として成長・発展する体制づくりを図っています。ビジネスインテグリティ※を高め、贈収賄行為を禁止し、不適切な利益の供与や受領を受けません。

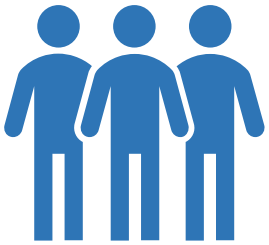
また、反社会的勢力などの社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与えるあらゆる個人、団体と一切関わらないことを徹底しています。

※インテグリティとは、「誠実」や「高潔」 という意味で使われます。
プライム市場上場企業として信頼される企業となるためには、「ビジネスインテグリティ」の概念を共有する必要があります。

【行動指針・姿勢】

- □ **高いビジネスインテグリティ（誠実性）を確保・維持する。**
- □ **あらゆる種類の贈収賄、腐敗行為、過度な贈答・接待、恐喝、及び横領を禁止する。**
- □ **賄賂またはその他の不当もしくは不適切な利益を得るための手段を排除する。**
- □ **利益相反行為を禁止する。**
- □ **反社会的勢力との関係を持たない。**

贈収賄は、都合の良いように取り計らってもらうために必要以上の接待やサービスを行う、もしくは受け取ることを指します。
この贈収賄を含め、癒着や、特別な便宜を図るなどの不正行為は利益供与にあたります。



▶ 経営企画統括本部 法務コンプライアンス部

16 平和と公正をすべての人に

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

G-8. 情報管理・セキュリティ

M7
企業統治

当社グループは、各国・各地域の法令等や社内ルールを遵守し、情報セキュリティ体制を整備することで、情報の漏えい防止や第三者の権利の保護に努めています。また個人情報について、目的外利用や本人の同意のない第三者提供は行わず、必要な個人情報保護対策を実施します。情報の開示においても、適時性・透明性・公平性の観点から、適切かつ正確な情報発信を行います。

当社グループの役職員は、情報の重要性を十分に認識し、情報漏えい、不正利用、誤り、改ざん、紛失などの防止に努めます。自社グループの情報だけでなく、第三者の情報についても同様、適切に取り扱います。また業務上知り得た未公開の重要な情報を利用した株式等の売買（インサイダー取引）を禁止します。

【行動指針・姿勢】

- □ **個人情報、第三者の情報、自社情報等、業務において取り扱うすべての情報を適切に管理、保護し、不正使用・漏洩防止に努める。**
- □ **自社の秘密情報及び他社の秘密情報を秘密として管理する。**
- □ **情報セキュリティ対策を徹底するとともに、万が一事故が発生した場合には、速やかな復旧、是正処置を講じる。**
- □ **インサイダー取引を防止する。**
- □ **コーポレートガバンス関連、税務・業績関連、CSR関連、リスク関連の情報等を適切に公開する。**

秘密情報や内部情報は取扱いに注意し、適切に管理しなければなりません。これは、業務遂行上知り得た他社の秘密情報においても同様です。

▷ 浜松ホトニクスグループ情報セキュリティ方針
▷ 秘密情報管理規定　▷ 内部情報管理規定
▶ 経営企画統括本部 法務コンプライアンス部
▶ 業務改革統括本部 IT戦略本部　▶ 経営管理統括本部

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

公益通報窓口のご案内

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

当社グループは、不正行為等の防止、早期発見及び是正を図ることでコンプライアンス体制を強化することを目的に、グループ公益通報制度を設けています。
「行動指針・姿勢」に違反する行為やその兆候を見聞きした場合は通報窓口から通報することができます。
通報したことにより、通報者が不利益な取り扱いを受けることは一切ありません※。また、通報者の個人情報をはじめとした一切の情報の秘密保持に留意して対応します。
（匿名通報も可能です。）
必要な場合は弁護士などの外部専門家の意見を参考に、公正かつ公平な調査を行います。

※ 虚偽通報や他人を誹謗中傷する通報、その他不正の目的での通報等を除きます。

通報対象事項

(1) 贈収賄、独禁法違反
(2) 会計・税務に関する不正
(3) 利益相反
(4) キックバック
(5) 人権侵害、児童労働
(6) 横領、詐欺、窃盗、背任
(7) 暴行、脅迫
(8) 品質・検査偽装
(9) 個人情報保護関連法の違反
(10) 環境保護、健康、安全に関する法令違反
(11) 会社の機密事項の漏えい
(12) 契約、報告又は記録の偽造・変造
(13) インサイダー取引
(14) 会社資産の不正使用、破壊行為
(15) 貿易・輸出入関連法の違反
(16) 浜松ホトニクスグループサステナビリティ基本方針その他当社グループ共通の方針、指針、規定、ガイドライン等の違反
(17) 通報に対する報復行為
(18) 上記各号につながる手続違反

公益通報責任者

コンプライアンス担当役員

公益通報窓口

以下URL、または右の二次元コードよりアクセスいただけます。
https://www.hamamatsu.com/jp/ja/our-company/sustainability/governance/hotline.html

© Hamamatsu Photonics K.K. and its affiliates. All Rights Reserved.

HAMAMATSU

PHOTON IS OUR BUSINESS

発行事務局：経営企画統括本部・管理統括本部